

- 生活支援  見守り  協議体
- 買物支援  配達  その他
- 移動支援  居場所づくり

## 11 「ちょこっと世話やき隊」による地域支援活動

阿久根市 介護長寿課地域包括支援係

### 地域の概要



阿久根市は県北西部に位置し、北部に長島町、東部に出水市、南部に薩摩川内市が隣接している。人口18,147人、77集落があり、高齢化率は43.37%と県の平均値よりも高く、年少人口の割合は県平均値よりも低い状況である。



### 取組のきっかけ

高齢者のみの世帯の増加や人口減少により、買い物や移動といった日常生活に不可欠なサービスの利用が困難になり、また、担い手不足により地域の商店は閉店し、これまで家族の支援や近隣住民での助け合いでできていたことができなくなるなど、高齢者を取り巻く生活課題が増えてきたことから、生活支援に関する「ボランティアグループ養成講座」を開催。受講者の中から生活支援を行う有償ボランティア『ちょこっと世話やき隊』を発足した。

### 取組の目的

- 地域住民の支え合い活動の推進
- 日常生活の困りごとに対する支援
- 支援者(世話やき隊)の方々の生きがい・やりがいづくり



### これまでの経緯

年・月	出来事
平成31年1月	阿久根市「福祉のつどい」に参加された市民の方々へ地域づくりについてのアンケートを実施
平成31年3月	アンケートから地域活動、地域づくりに興味のある方を対象に「阿久根市地域づくり勉強会」を開催
令和元年8月 令和2年1月	生活圏域に分かれ、地域の実情にあった「阿久根市地域づくり勉強会」をそれぞれ開催(全4会場)
令和2年7月	社会福祉法人の協力のもと、買物支援×介護予防の取り組み「ドライブサロン」が始まる
令和2年9月	生活支援に関する「ボランティアグループ養成講座」を開催(全5回講座)
令和3年1月	地域支援活動『ちょこっと世話やき隊』を発足
令和4年1月	ちょこっと世話やき隊連絡会での話し合いがきっかけで「ちいき食堂」が3ヶ所開設
令和5年3月	ちょこっと世話やき隊の中から、鶴川内地区を中心に刃物研ぎを通して地域の困りごとに対応する『楠本会』を発足
令和7年2月	ちょこっと世話やき隊連絡会の話し合いの中で「買い物代行」「付き添い支援」を支援内容に追加

### 活動の概要

- 支援内容
    - 【屋内作業】①家事代行 ②布団干し ③電球交換 ④敷物(絨毯など)の敷き替え
    - 【屋外作業】①草払い ②草取り ③ごみ出し ④庭木の剪定
    - 【その他】①軽微な修繕 ②刃物研ぎ ③買い物・付き添い支援 ④その他生活支援
- ※30分の支援に対し300円を利用者に負担していただく。  
その他支援内容に応じて利用者負担

- 支援対象者
  - ・一人暮らしの高齢者
  - ・高齢者のみの世帯
- 活動に関わった人・団体
  - 生活支援コーディネーター、
  - 行政、民生委員



### 取組における行政担当者・生活支援コーディネーターとしての役割

- 地域課題の把握
- 支援が必要な方との相談・調整
- 世話やき隊員の活動に関する相談
- 世話やき隊員との連絡会の企画・開催
- 資源開発の検討・創出
- 事業主(行政)との情報共有
- 社協だよりによる周知広報



【活動の流れ】

### 現時点での到達点(効果・課題など)

#### 【効果】

個別ケースの地域ケア会議において「ちょこっと世話やき隊」による支援の提案ができるなど、相談体制の充実が図れた。

#### 【課題】

- 世話やき隊員の不足
  - ・各集落に世話やき隊員がいることにより、見守り体制や支援が行き届く
  - ・世話やき隊がない集落への周知
- 担い手不足
  - ・次世代の世話やき隊員の確保